

主審と副審の役割が分かれた。

主審はペナルティ、ウォーニング、合図や指揮をする。

副審はポイントのみを表示。

WKFではジョイスティックが採用されたが日本ではそのまま旗でもok。

気をつけなければいけないのは”場外”。主審は場外も確認しなければいけないため、これまでより一層立ち位置、ポジション取りが大切になってくる。

JKFの運用として、副審は場外を確認した時、床を2回タップすることができる。

ウォーニングとペナルティはこれまでC1とC2に分けられていたが、一つの項目として取り扱うことになった。これは全て主審主導で行う。

ウォーニング

対戦相手の勝利の可能性を減少させない小さな違反には最大3回まで「注意」が与えられる。

対戦相手の勝利の可能性を減少させるようなより深刻な違反には「反則注意」。

ペナルティ

非常に重大な違反、累積の違反は「反則」。

相手の勝利の可能性を奪った時。

失格は主審の命令に従わない時、悪意ある場合、空手の威信を傷つける行為に与えられる。

「注意」に関してはこれまでのように飛び越えて与えることはできない。

いきなり「注意2」にしたり、「注意1」から「注意3」になることはない。

接触の度合によって、「注意1」や「注意2」から反則注意に飛び越えることは可能。

誇張と装いについては、これまでは最低でも反則注意だったが注意からに変更となった。

日本では高体連は上段突きのスキンタッチは許されていないため実質カデットと同様の扱いとなる。

一本のポイントにおいて、これまでは胴体がついてないと一本にならなかったが、体の一部が接触していれば一本となる。

ポイントの取り方についての変更

異なる表示での取り扱いはこれまで低い方の技をとっていたが、高い方を採用と変更となった（旗が同数の場合のみ）。

例として、副審 1 が赤有効 副審 3 が赤の技ありの場合は赤の技アリをとる。
副審 1 と 2 が赤の技あり、副審 3 と 4 が赤の一本は赤の一本となる。

次に、旗が同数ではなかった場合は多数決で多い旗の得点をとる。
例えば、副審 1 と 2 が赤の有効、副審 3 が技アリの場合は有効の旗が多いので有効となる。
副審 1 と 3 と 4 が赤の技アリ、副審 2 が赤の一本は一本の方が高い得点だが、技アリの方が多いので技アリをとる。

同点で先取がない場合、まずは一本の数が多い選手が勝ちとなる。
一本の数も同じ場合は技アリの数が多い選手が勝ちとなる。
それでも引き分けの場合や、0:0 だった場合は判定をする。

判定はまずは主審がこれまで同様笛で判定をするが、主審はそれには参加せず副審 4 名のみで判定をする。判定の基準はこれまで 3 つだったが 2 つになった（戦術と技術の優位性）
もし 2:2 の場合、そのまま主審は主審の位置まで行き、自分の判断で勝敗をコールする。
これは団体戦や総当たり戦は引き分けとなるため判定はしない。

集合できるのは 4 つ
失格にするとき
10 セカンドが成立した場合
ドクターストップの場合
直接反則にする場合

総当たり戦予選方式の場合
各グループの勝者は勝ち点の多さで決定される。
勝ち点は 3 点、引き分けは 1 点、負けや得点なく引き分けの場合は 0 点。

総当たり予選方式で退場になった時 失格や棄権など。結果は全て無効になるが、それが最終試合であった場合は有効となる。

試合で反則になった選手は総当たり戦を続行できる。
その場合の相手のポイントは 4:0 もしくは 4 ポイントを超える得点で勝利となる。
赤が 2、青が 8 のポイントで青が反則負けしたポイントは 4:0 となる。
4 ポイントを超えるとは、赤が 7、青が 9 のポイントで青が反則負けの時はポイントは 7:0 となる。

ビデオレビューの変更点は、選手は監督にビデオレビューを要求することができるようになった。

監督はビデオレビューの要求のみだけおこなう。これまでのように技名を言う必要はない
ビデオレビュースーパーバイザーは技の速い遅い、つかみや場外も考慮した上で判断をくだす。

そのほかの変更点は、団体戦の初戦はこれまでは過半数以上の人数で参加できたが、今後初戦は全員揃ってないと参加できない。

ただし、JKF の運用で男子は3名以上、女子は2名以上であれば初戦から参加できる。

監査の旗は必要なし。笛のみ。

また、主審と直接話すことができるようになった。

これまでも主審と話をしてたが、厳密に言うところまでは監査が笛を吹き、タタミマネージャーが話をするようになっていた。

規定外の道着や安全具でコートに立った時はこれまで1分だったのが2分になった。

もし規定外の2分ルールが適応になった場合、その試合において監督は監督席にはつけない。注意点として、形は1分のまま。